

県議会の委員らに、浄水場建設予定地の変更を求める理由を説明した「建設予定地の変更を求める会」のメンバー（村民提供）



浄水場予定地 変更へ陳情書

座間味住民、県議に訴え

【座間味】座間味島に浄水場を建設する県の事業を巡って7日、予定地の変更を求めている住民が、村に視察に訪れていた県議会総務企画委員会（渡久地修委員長）の委員に陳情書を手渡した。

陳情書を県議会の渡久地委員長らに手渡したのは「座間味浄水場建設予定地の変更を求める会」の中村毅会長（67）ら。陳情書では、建設予定地が住人に知らされたのは決定後で、環境への影響が懸念されることなどから予定地変更を求め、代替案3カ所を提案した。委員は各離島で離島振興について意見交換しており、その一環で座間味島を訪れた。同会の住民らは、浄水場建設予定地と、代替案の一つである座間味港のテニスコートで委員を待ち、直接予定地変更の要望を訴えた。

同会の中村会長は「浄水場建設は住民の望みであるが、自然を守るために建設場所を変えてほしいという、村民の気持ちを受け取ってほしい」と委員らに求めた。